

YIA 会員だより 2018年6月号

発行 ; 吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)



第 162号 ホームページURL <http://www.tcu.or.jp/kamojima/yia/>

【6月～7月の活動予定他】<書道ワークショップ>

<6月度理事会>

日時:6月30日(土)

13:00～15:00

場所:文化研修センター

日時:6月17日(日)13:30～15:30

場所:文化研修センター

講師:吉野美苑様(書道家)

参加費:無料、タオル持参のこと

申込み:萩森または井口まで

<台湾地震被害に対する募金への御礼と報告>

5月27日定期総会開催時にお願しました台湾地震被害に対する募金、総額8,000円のご協力をいただきました。協賛する阿波市国際交流協会と協力し、地震の被害を受けられた方に届けるようにいたします。ご協力ありがとうございました。

◆ <2018年度定期総会・記念講演会報告>

瀬尾規子

2018年度定期総会と記念講演会が5月27日(日)13:00～15:30、吉野川市文化研修センターで開催されました。ご来賓として石川教育長、松原教育次長にご隣席を賜り、石川教育長からご挨拶をいただきました。総会では2017年度事業報告、収支決算、役員改選、2018年度事業計画、収支予算について審議し、議案はすべて承認されました。会員のほか、日本語受講生、一般参加など51名が参加しました。



総会のあと市原百合子さんによる記念講演会「ベトナムとの交流を楽しむ」、日本語教室の授業参観、ベトナム人技能実習生3名によるスピーチがありました。市原百合子さんは、2008年に洪水の被害を受けたベトナムの村を支援したことがきっかけとなり、少数民族モン族の小学校を訪れるようになりました。その小学校はハノイから西北に170kmほど行ったところにあるイエンバイ省の、さらに奥地へ入ったバンム村にあります。昔の日本の小学校にそっくりだったことから、心ひかれ毎年少しずつ学用品や日用品などをプレゼントしてきました。10年以上支援を続けた結果、2009年当時と比べると、教室、トイレ、寄宿舎などは格段に改善されてきたそうです。



記念講演会



日本語授業中

続いて、外国人技能実習生が学んでいる日本語指導の様子を実演し、参加者の皆さんに参観してもらいました。ベトナム人受講生が2グループに分かれて、模擬授業をしました。指導者は真鍋さんと白岡さんなど4名。10分程度でしたが、企業の方や同僚の方に授業を参観してもらったことは、とてもよかったです。



チュンさん



クーさん



ホックさん

最後に、3人のベトナム人技能実習生が日本語のスピーチをしました。この日のためにスーツを買ったというチュンさんは、阿波スピンドルに勤めています。最初は日本語がわからず、上司から怒られ落ち込んだこともあったそうですが、母親に励まされ、頑張って日本語を学習して、日本語検定N3に合格しました。クーさんも阿波スピンドルで勤めています。日本で初めて見た桜や雪に感動したそうです。地震にも驚いたそうです。なんでも体験しないとわからない、だから世界へ飛び出して行こう！と呼びかけました。ホックさんは、はきはきとした大きな声でスピーチしました。帰国したら日本語の先生になりたいそうです。3人は7月に徳島市で行われる「外国人による徳島県日本語弁論大会」に出場します。盛りだくさんのプログラムでしたが、ベトナムや国際交流協会の活動を知ってもらう、とてもよい機会となりました。

◆ 阿南市国際交流協会との交流 萩森 健治

阿南市国際交流協会の日本語教室講師5名が5月13日に鴨島日本語教室を見学し、授業参観と交流を行いました。吉野川市日本語教室は長年の歴史があり活発に活動しており、その秘訣を知りたいとのことで今回の交流が実現しました。当日の受講生は、ベトナム人女性8名、男性3名、日本語講師5名でした。

見学者は、4グループに分かれて指導中の各テーブルにつき、日本語指導の様子を見ながら受講生との会話も体験しました。授業終了後に、当日本語教室の概要、運営状況、受講生の出身国や延べ人数、所属職種などを説明しました。長年継続して活発に活動できている要因について質問があり、以下のように回答しました。

- ・楽しく、気軽に、無料で、自由に日本語が学べる
 - ・日本語のレベルに応じてグループ分けし日本語指導
 - ・講師と受講生との深い信頼関係と安心できる居場所
 - ・餅つき、花見、阿波踊りなど楽しいイベントで交流
- 見学者の感想は、「受講生の皆さんが実に楽しく学習している姿に感心し、阿南の日本語教室とはまったく違った雰囲気です、大変参考になった。このような指導をぜひ取り入れたい」とのことでした。



◆ 阿波和紙会館 通訳ボランティア報告 新居博

5月17日から23日までアメリカのカンザス大学で美術を専攻している学生10名と先生2名が阿波和紙会館に滞在し、和紙作りの研修が行われました。今回YIAから長井、市原、横山、新居の4名と地域の方1名



高橋さんが滞在期間中通訳としての役割を分担しました。研修参加者は皮はぎ工程から紙すき工程までの和紙のつくり方を熱心に学び、自分たちの美術作品作りに使う和紙を制作しました。また同時に和紙への藍染めなども経験しました。

研修中にはテレビや新聞等のメディアからの取材もありました。参加者はアメリカの大学で学ぶ学生ですがアジア出身者が多数含まれており、大学教育の分野でもグローバル化の進展を感じました。今後とも、和紙作りのために阿波和紙会館に滞在される方と通訳ボランティア活動を通じて、国際交流に貢献していきたいと思っております。

◆ 鴨島町更生保護女性会・総会で講演 萩森 健治

市の市民部人権課から講演依頼があり5月24日「外国人との国際交流」と題して1時間講演しました。会場は鴨島公民館で鴨島町更生保護女性会のメンバー約50名が参加されました。

講演では、国内の外国人労働者の現状、市内在住の外国人の現状、技能実習制度の概要と問題点、吉野川市国際交流協会の活動、日本語教室での技能実習生との交流、市民と外国人との共生についての課題をパワーポイントで説明しました。参加した皆さんは興味深そうに聞いていて、YIAの活動にも関心を持っていただけたと感じました。入会案内もしましたので、入会して下さる方がおられることを期待しています。



YIA定例活動 他

◆英会話教室 ネイティブとしゃべってみましょう!

【鴨島教室】毎週木曜日19:00~21:00

場所:吉野川市文化研修センター2F

【山川教室】毎週火曜日19:00~21:00

場所:山川公民館

【川島教室】毎週水曜日19:00~21:00

場所:川島公民館

お問合せは市役所生涯学習課

☎22-2271へ

◆日本語教室

【鴨島教室】 ☎ 22-0015

場所:吉野川市文化研修センター2F

毎週日曜日 13:30~15:30(初級および中級日本語講習)

ご意見・情報などをお寄せください。

広報部長 長井まで(TEL090-1575-8634)

e-メール; yoshino_kokusai@yahoo.co.jp